



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第657回例会 1月 17日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 加藤ひとみ 八田峰夫
- 点鐘: 近藤 雅彦
- ゲスト: 静岡樹木医会 会長 正木伸之様
- 議事: 夢計画担当部会「松で育てる まちづくり」私と「松」

〈出席報告〉

会員数 80名(内 出席免除会員1名)
出席数 57名 出席率 72.15%
前々回出席率 87.18%

■会長挨拶



本日の例会は本年度の夢計画の松について思いを語るというものですが、今年度、この事業を継続事業にしていきたいと考えておりますので継続事業というものについて考えを述べさせていただきたいと思っております。

ロータリーという組織は基本的に単年度制でその年の方針によって大きく色々なことが変わりますが、そういった点はメリットもありますが、もちろんデメリットもあります。デメリットの最大の点は継続して事業に取り組めないといったところだと思いますが、継続事業を作っていくというのはそのようなデメリットを補うものだと思います。

ただ、やはり時の会長がこの事業を継続事業にしようとして決めても最終的には会員の皆さんの支持がなければ続けられないということは言うまでもありません。

もちろん私はこの事業が継続事業にふさわしいと皆さん

に評価頂けるように全力を尽くしますが最終的には皆さんの支持を頂けるかどうか問題だと思っています。実際に今年やってみて継続するにしても修正する点、つけ加えた方が良くと思われることや一部やめた方がいいと思われる点もあると思いますし、もしかしたらこの事業から発展して別の事業にしていくという方向性もあるかもしれません。

一応、来年度はこの事業を継続するとの方針は聞いておりますが、是非、この事業を素晴らしい事業に発展させるためにも、皆様一人一人がこの事業を評価して頂いて、来年度に繋げて行って頂きたいと思っております。

■幹事報告



1. レターケースへの配布資料
 - ・ 1~3月の会費の請求書。
2. 例会終了後、第1回予定者会議

■委員会報告

ゴルフ同好会 高木幹事

3月20日に青空例会があります。

■スマイル

○原田さん

先週、新東名を走っていたら雷が降ってきました。4日に一番高いキーパーをやったばかりでしたが小さなキズができていました。1回車検をとったぐらいなのにもう10万キロになります。でも、まだ、乗ります。

○池田さん

先週末温泉同好会メンバーで北九州に行きました。花街丸山町、官民一体となって観光都市を作り込んでいるように思えました。楽しい温泉旅行ができたことに感謝！

○温泉同好会

1月14、15日、長崎方面に行きました。寒波のせいで交通の乱れがあったようですが、幸い静岡空港発着で全く影響を受けずに行って来られました。今回は料亭花月で粋な遊びをすることが目的でした。楽しい2日間でした。

○武田さん

先週の新年会で50年の人生で初めての書き初めで1等賞をとったのでスマイルします。賞品は手書きの1万円でした。

○小澤さん・村田さん

昨年12月の植栽活動では、正木先生には大変お世話になりました。清明寮の子供たち、米山学友会、そして、我々ロータリークラブのメンバーも素晴らしい体験をさせてもらいました。ありがとうございました。今後ともよろしく願い致します。

○親睦部会

クリスマス&忘年会、そして新年会、おかげさまで皆様のご協力のもと終える事ができました。本当にありがとうございました。今後とも親睦部会へのご協力よろしく願い致します。

○夢計画担当部会

正木先生、本日はお越し戴きありがとうございました。本日1月17日は、「ざざんざの松」の植樹会がございます。今後ともご指導のほどよろしく願い致します。

西尾、加藤、山崎、龍谷

■議事

夢計画担当部会：テーマ 「私と「松」」



○樹木医 正木伸之先生

おはようございます。この程度の寒さは普通だと思いません。昭和36年に極東寒波でマイナス15度、磐田原でもマイナス9度がありました。その当時バラックに住んでいたのですが、全て氷柱になっていて水道が止まっていました。この程度の寒さはまだまだです。

木はマイナス24度辺りが限界で、中が氷、爆ぜる。松はヤニなどがあるので強いです。潮風に強いものは幹や葉に塩分がついて浸透圧で水分が吸い出される強いものが評価されます。土木事務所でも評価されています。数ではなく一本一本いかに丁寧に植えるかが重要です。これからは草が生えるので雑草処理が問題です。イネ科などは8月盆前ぐらいにも2回処理をすれば生きてきません。今後はそれが大切です。これから新芽も生きてきますので、期待して見てもらえたらと思います。



○西尾文克会員

今回の事業に関して小澤副委員長を中心にやっていただきました。地域の清明寮にも関わって頂き、5団体の協力を頂きました。

○熊谷真一会員

出身は水産です。95%が森林という場所に住んでいたのが今回お話しをする機会を頂いたかと思えます。父は林業を職としてました。林業で生きていたら今も続けていたでしょう。門谷という山の中腹に住んでいました。駅には30分程かかる位置です。小和田駅は、鉄道好きな方には知られています。秘境駅では全国2位の実績があります。美しい日本の無人駅第1位にもなりました。実は北遠には松が殆どなく、僕と松との関わりは松飾り位なものです。ご期待に沿えず失礼いたしました。



○鈴木一広会員

私は剣道をやっておりますが、剣道の胴の防具に三階松という模様がありずっとそれを着けています。山登りも好きです。山へ行くと「這松」という松が生えています。調べてみると這松は氷河期にシベリアから南下してきた種類の松で、温暖化が進み高山地にも残った松だそうです。地を這う様に生えているので足を引っ掛け転倒の原因にもなります。山登りする方はご存知かと思いましたがご紹介しました。

○坂井光蔵会員

今年度は東小学校へ植樹をする機会があります。記憶に新しいのは陸前高田の奇跡の一本松です。

私の個人的な案ですが、もしこの松の苗が頂けるのなら植樹してはいかがか。そして絵を描き東小の玄関に飾る。震災で20mを越える波に耐えた松です。地下にしっかりと根を生やし、どんな苦難にも耐えるという強いメッセージを子供達に与える事が出来れば、彼らにとっても一生の宝物になるのではないかなと思いました。

○金山土州会員

今回、IMのチラシの一番下に「杜松」という松の写真があります。浜北の伊藤さんという盆栽作家の松です。大きさは1メートルぐらいあります。推定100年ぐらい経っているそうです。松の肌が出て幹が白くなっています。IM前後一週間はアクトシティホテル浜松のロビーに展示されるそうですから、皆さんぜひご覧ください。

私と松との一番深い関わりは墨ですね。先日の新年会で使用した墨は「硝煙墨」といいます。松を燃やして煤で作った墨です。この墨で書いた書は千年もちます。良い松は酸性雨などの影響により減ってきました。こんな言葉があります「名も無き木たちが山を守る」。山は一本一本の木で出来ています。人の世界に例えて言うのであれば、名もなき人達…真面目に会へ参加している一人一人がロータリーを守っているんだ、という事を忘れてはならないと思います。



○青山素久会員

15周年担当委員会委員長を仰せつかりました。今後、活動を活発にしていきます。5/17に松の植樹事業、5/27は記念式典があります。会長の想いは全員参加です。皆さまのご協力が必要です。よろしくお願ひします。